



ここにきて急に気温が下がりました。三中では白銀祭に向けて、音楽室から聞こえる歌声も少しずつ大きくなり、ハーモニーも揃いつつあります。また、グラウンドでも、学級委員をリーダーにして練習に力が入ります。コロナウイルス感染状況を見ながらですが、学校を少しずつ公開していきます。どうぞ、よろしくお願いします。10月の全校集会では次のように話しました。

白銀祭では全員がプレイヤーであり、スタッフである 佐野和雄

今朝はさわやかですが、これから寒くなるようです。体調管理に気を付けましょう。

さて、10日前の話です。白尾学習の中間発表、対話会がありました。ゲストを招き、大人の視点を得ることや保護者向けにリモート配信をするなど初めての試みでした。生徒の皆さんは、これまでの追究についてのプレゼンや、質疑、討論を熱心に行い、カテゴリーによっては専門家のアドバイスを受けて考えが深まったり、追究を深める見通しがもてたりしたようですね。また、異学年で学ぶ縦割りの意見交換が好評で、この企画は成果があったなと考えています。対話会に参加された方からは次のような言葉をいただきました。

- 1 学年に応じて発言の内容のレベルが上がり、意見交換する際の態度が立派であった。
- 2 司会などで運営に関わった人はもちろん、司会の進行を助けようとする3年生等の姿が素晴らしかった。生徒の皆さんの今後の追究がとても楽しみです。

うれしいですね。とても高く評価していただきました。3年生は12月、1・2年生は1月の本発表に向けて、追究過程や発表態度をきちんと振り返り、さらに充実させていきましょう。先生方も、振り返りをきちんとして、改善していきます。

いよいよ10月です。三中の10月は、白銀祭の月です。各学年による合唱の中間発表を見学しました。合唱が禁止されていた期間が大変に長かったにもかかわらず、よくできていると感じました。本番まであと2週間です。益々の充実を期待しています。この白銀祭では、皆さんの一人一人は2役を担っています。設定された舞台で力を出すプレイヤーとして、そしてその舞台を支えるサポーターとしての2役です。まず、プレイヤーとして、白銀祭には、運動の部、文化の部とあります。運動や歌が得意な人はワクワクしていると思いますが、それらが苦手な人にとってはこのイベントはとても憂鬱です。どの子も前向きに取り組み、より高いレベルを目指せるように、学級や学年でゴールの姿を共有し、そのためにどんな声を掛けるのか、どんな練習の仕方をすればよいか、考え、話し合い、力を合わせていきましょう。助け合って進むことで、一人では到達できない大きな喜びや、感動を味わうことができます。その喜び、感動は、真剣に取り組んだ努力の時間に比例します。やっても無駄は怠け者の逃げ道。努力が結果に繋がることは、これまでの半年で感じていること。団結してやり遂げ、皆で喜びを味わいましょう。

また、運営のサポーターとして、委員会で割り当てられた仕事を、一人一人で分担し、きちんと責任を果たすことで白銀祭の舞台が整います。委員会によっては、仕事の割り当てが少なく、全員分の仕事がないところもあるようですが、学級、学年、学校全体のために引き受けられるところを自ら見つけ、白銀祭全体の成功に貢献していきましょう。仕事・役割分担をする上で、1流、2流、3流というレベルがあります。頼まれた仕事を最低限のレベルでやるのは3流。2流は、頼まれた仕事がきちんとできるレベル。頼まれた以上の仕事がきちんとできて、他を助けられるレベルが1流です。この白銀祭、プレイヤーとして、そしてサポーターとしてきちんとやり遂げ、大きな感動につなげていきましょう。

## 白尾学習発表会とテーマ別話し合い

9月23日に「白尾学習発表会」が行われました。保護者の皆様にはリモートでの参観となりました。生徒たちはそれぞれのよりよい追究に向け、他の人の研究や意見、アドバイザーの助言を聞き、思考する様子が見られました。自分の研究について客観的に振り返り、今後の見通しを持つことは、学習を効果的に進める上で重要なことです。日頃の授業の成果が出ていたように思えました。アドバイザーの皆様からは、「それぞれ今日的なテーマで追及を進めていることが素晴らしい。」「子供たちがいろいろな情報、アイディアを持っていて楽しかった。」「今後の研究が楽しみです。」などの感想をいただきました。今回の経験を踏まえ、よりよい追究を進めていき、12月には3年生が、1月には1、2年生が本発表を行います。そのとき今回の成果が発揮できることを期待しています。



## 立ち会い演説会・新生徒会始動

本年度の立ち会い演説会では、多くの生徒が立候補し、理想の学校について熱く語りました。さすがに意欲を持って取り組もうとしている人たちだけあって、明瞭で力強い言葉と堂々としたやる気あふれる態度、前向きな考えなど全員が素晴らしかったです。その後投票を行い、新役員が選出されました。いよいよ新生徒会が始まろうとしています。

## 抜き打ち避難訓練実施 どれだけ行動できたか！

今回の避難訓練は清掃終了時に抜き打ちで行いました。教室以外の場所にいた生徒も多く、とっさの判断力を試すには良い機会だったと思います。抜き打ち避難訓練は小学校でも経験済みだと思います。経験を積むことでどこが成長したかを確かめることも大切です。保護者の皆様は、10年前の3.11や3.15の地震を覚えていらっしゃるのではないのでしょうか。実際の災害時には、平常時の判断はなかなかできません。停電やスマホが使えないなど、思いがけないこともたくさんありました。そのときの経験を生かしていかなければなりません。

- 1 多くの生徒ができていた行動
  - ・机の下に潜ったり、落下物がありそうな場所を避ける、「おはしも」で避難など、小学校や今までの訓練で学んだことを生かすことができた人はかなりいました。
  - ・振り返りで自分の行動をしっかり分析し、次により安全な行動ができるように考える人が90パーセント近くいました。
- 2 今回の訓練で学んだこと（生徒の感想）
  - ・突然のことで、状況を把握し次の行動をとるまでに時間がかかった。
  - ・避難時に一度教室に戻ったり、防災頭巾を取りに帰ったりするなど、無駄な行動があった。
  - ・グラウンドのどこに並んだらいいか迷ってしまった。すぐに並んで点呼をすべきだった。

☆交通安全について、登下校中の交通マナーの徹底を行っています。以下の点についてご家庭でもお話しください。

- ・歩道の並列歩きの禁止。原則1列で歩くこと。
- ・横断歩道がない場所での横断禁止。
- ・暗くなったら、腕章など反射するものを付ける。



☆防犯カメラが正門、西門、南通路、東階段に設置されました。安全性が高まりました。